

第76回中部日本高等学校演劇大会 速報

2023年12月24日（日）

上演⑪ 岐阜県 **岐阜高校**

「エンセオジエン」（創作）

■本番を終えて

自分たちが今まで練習してきた最大限の演劇をすることができました。

■脚本のねらい

1年前の夏大会の上演を見てメッセージ性のある作品を作りたいと思いました。自分たちが今抱えている「依存」という問題を主軸のテーマとし、そのテーマに沿うようなキャラ作りや、セリフ一つひとつを大切に作りました。

■演出の工夫

演技指導に力を入れました。また、アクティング・エリアを意識して、舞台上のどこで演じるのがよいかを考えました。どのようにしたらより効果的な場面になるかは常に考えました。

■苦労したところ

主人公の細かい役作りに苦労しました。また、部員が少ないので大きな舞台装置を作るのは大変でしたが、部員一人ひとりがプロフェッショナルな仕事をしてくれるので、お互いを信頼しあい、作り上げることができました。

■お客様に一言

最後のシーンが伝えたいことのすべてです！

第76回中部日本高等学校演劇大会生徒実行委員会 広報
(記事) 坂野、岡田